理科研究部

芝川 清掃活動調査の実施報告

2021 年 12 月 24 日

中学・高校の理科研究部は、埼玉県の「川の国応援団」及び「美化活動団体」に登録を頂いております。12 月 18 日（土）に、部員 24 名と顧問 2 名が参加をして、芝川の砂橋（JR 宇都宮線が交差する学校近くの橋）の付近において清掃活動調査を実施致しました。2020 年 2 月に実施して以来、およそ 2 年ぶりの実施でした。

清掃活動は、川の両岸でおこなうと同時に、胴長とライフジャケットを着用して川の中でも取り組みました。砂橋～見沼橋（砂橋の 1 つ下流側の橋）の 200m 程の範囲で 2 時間程かけて取り組んだ結果、予想をはるかに上回る量の人工物（廃棄されたゴミ）を収集しました。その後、学校のグラウンドで種類ごとに分別をし、個数のカウントや質量の測定をおこないました。

小さなものでは、ペットボトル 162 個 ・ 空き缶 52 個 ・ 空き瓶 10 個 ・ スプレー缶 7 個 ・ 煙草の吸殻 50 個以上が集まりました。この他、網戸 ・ バット ・ 釣り竿 ・ ほうき ・ 植木鉢 ・ 血圧計 ・ 固定電話 ・ ゴミ箱 ・ 長靴 ・ 傘といった日常生活で使われるものも、それぞれ 1 個～数個ずつありました。

我々だけでは運搬できないほどの重さの粗大ゴミが川の中に多種あり、驚きの連続でした。自転車 2 台をはじめとして、電動スクーター ・ パソコン本体 ・ ディスプレイ ・ エアコンをそれぞれ 1 個ずつ水揚げしました。これらの作業は難航し、12 月 18 日（土）だけでは回収しきれず、翌週の 12 月 20 日（月）の放課後にまで及びました。わずか 200m 程の範囲だけで、こんなに多くの種類・数が回収されるとは、誰も想像出来ませんでした。

これらのゴミは、さいたま市によって回収をして頂くことができました。清掃活動の当日に撮影した写真も確認しながら、皆で協力をして調査結果をまとめた野帳を完成致しました。今回の調査の結果と考察について、2022 年 2 月 5 日（土）にオンライン開催をされる埼玉県主催の「川の再生交流会」において発表をさせて頂きます。